

# 平成30年青森県花き生産状況

農産園芸課

## 1 概況

平成30年の本県花きの生産状況は、作付面積が94ヘクタール（前年比85%）で、前年に比べ17ヘクタールの減少、出荷数量が1,988万本・万鉢（同87%）で、前年に比べ約302万本・万鉢の減少、出荷額が16億8,000万円（同92%）で、前年に比べ約1億4,300万円の減少となった。また、栽培農家数は778戸（同95%）と、前年に比べ39戸減少した。

これらの要因として、高齢化や労働力不足のほか、野菜への作付転換等が考えられる。

表1 生産状況

（単位：ha、千本・千鉢、百万円、戸、%）

年次 \ 項目	作付面積	出荷数量	出荷額	栽培戸数
30年	94	19,880	1,680	778
29年	111	22,898	1,823	817
30年/29年	85	87	92	95

【農産園芸課調べ】

## 2 作付面積

### (1) 切花類

切花類の作付面積は約74ヘクタール（前年比86%）で、前年より約12ヘクタール減少した。

品目別では、キク類（大中輪ギク、小ギク、スプレーギク）が約18ヘクタールと最も多く、全体の19パーセントを占めた。次いで、サクラ（枝物）が約9ヘクタール、トルコギキョウ約8ヘクタール、ヒマワリ約4ヘクタール、バラ約2ヘクタールの順となった。

トルコギキョウ、アルストロメリアは概ね前年並であったが、キク類、サクラ等が減少した。

### (2) 鉢ものの類

鉢ものの類の作付面積は約9ヘクタール（前年比91%）で、前年より約1ヘクタール減少した。

品目別では、シクラメンが約2ヘクタールで最も多く、次いでサクラソウが0.9ヘクタール、ポットローズが0.8ヘクタールとなった。

### (3) 苗ものの類


苗ものの類の作付面積は約4ヘクタール（前年比73%）で、前年より約1.4ヘクタール減少した。

表2 作付面積

(単位：a, %)

区別	年次		年次		30/29	
	30年	割合	29年	割合		
切花類	7,414	79	8,641	78	86	
主要品目	キク類	1,774	19	1,927	17	92
	サクラ(枝物)	933	10	1,421	13	66
	トルコギキョウ	806	9	793	7	102
	ヒマワリ	362	4	378	3	96
	バラ	204	2	246	2	83
	アルストロメリア	184	2	185	2	99
	リンドウ	149	2	207	2	72
	カンパニュラ	128	1	144	1	89
	ストック	120	1	118	1	102
	カーネーション	109	1	110	1	99
	宿根カスミソウ	101	1	100	1	101
	ユリ類	101	1	110	1	92
	アスター	90	1	86	1	105
	デルフィニウム	81	1	85	1	95
	グラジオラス	47	0.5	62	1	76
	その他	2,225	24	2,669	24	83
鉢もの類	932	10	1,024	9	91	
主要品目	シクラメン	193	2	215	2	90
	サクラソウ	87	1	124	1	70
	ポットローズ	80	1	75	1	107
苗もの類	376	4	513	5	73	
花木類	202	2	423	4	48	
芝類	400	4	400	4	100	
球根類	105	1.1	50	0.5	210	
合計	9,429	100	11,051	100	85	

【農産園芸課調べ】

 : 重要品目及び地域振興品目

(注) 数値は小数点以下を四捨五入しているため、各数値の合計値と合計欄の値が一致しない場合がある。

### 3 出荷額

#### (1) 切花類

切花類の出荷額は9億6,800万円(前年比91%)で、前年より9,200万円減少した。

品目別では、キク類(大中輪ギク、小ギク、スプレーギク)が2億9,200万円(同106%)と最も多く、全体の17パーセントを占めた。次いで、トルコギキョウが1億7,500万円(同99%)、アルストロメリアが1億2,100万円(同101%)、バラが8,000万円(同74%)、カンパニュラが2,600万円(同81%)、ユリ類が1,700万円(同85%)、ヒマワリが1,500万円(同58%)の順となった。

(2) 鉢ものの類

鉢ものの類の出荷額は4億7,900万円（前年比96%）で、前年より2,000万円減少した。

主な品目では、ポットローズが7,500万円と最も多く、シクラメンが6,400万円、サクラソウが2,900万円となった。

(3) 苗ものの類

苗ものの類の出荷額は9,500万円（前年比83%）で、前年より1,900万円減少した。

表3 出荷額

(単位：百万円，%)

区別	年次	30年		29年		30/29
		30年	割合	29年	割合	
切花類		968	58	1,060	58	91
主要品目	キク類	292	17	275	15	106
	トルコギキョウ	175	10	177	10	99
	アルストロメリア	121	7	120	7	101
	バラ	80	5	108	6	74
	カンパニュラ	26	2	32	2	81
	ユリ類	17	1	20	1	85
	ヒマワリ	15	1	26	1	58
	宿根カスミソウ	14	1	18	1	78
	ストック	14	1	14	1	100
	アスター	14	0.8	13	0.7	108
	リンドウ	12	0.7	8	0.4	150
	デルフィニウム	8	0.5	7	0.4	114
	サクラ（枝物）	7	0.4	9	0.5	78
	カーネーション	7	0.4	8	0.4	88
	グラジオラス	2	0.1	3	0.2	67
その他	164	10	222	12	74	
鉢ものの類		479	29	499	27	96
主要品目	ポットローズ	75	4	113	6	66
	シクラメン	64	4	67	4	96
	サクラソウ	29	2	36	2	81
苗ものの類		95	6	114	6	83
花木類		75	4	95	5	79
芝類		60	4	54	3	111
球根類		3	0.2	1	0.1	300
合計		1,680	100	1,823	100	92

【農産園芸課調べ】

：重要品目及び地域振興品目

(注) 数値は小数点以下を四捨五入しているため、各数値の合計値と合計欄の値が一致しない場合がある。

#### 4 地域別の生産状況

##### (1) 作付面積

県全体の作付面積は、前年より15ポイント減少した。

地域別では、中南地域が約28ヘクタールで全体の約30パーセントを占め、次いで三八地域が約25ヘクタール、東青地域が約21ヘクタール、西北地域が約16ヘクタール、上北地域が約4ヘクタール、下北地域が約0.7ヘクタールとなった。

##### (2) 出荷額

県全体の出荷額は、前年より8ポイント減少した。

地域別では、三八地域が5億1,600万円で最も多く、次いで中南地域が5億1,300万円、上北地域が3億400万円、西北地域が2億9,400万円となった。

なお、上北地域は、ポットローズ等の鉢ものの生産により作付面積は約4ヘクタールと少ないものの、単位面積当たりの出荷額は多くなっている。

表4 地域別生産状況

(単位:a、%、百万円)

地域	作付面積					出荷額			主な品目
	30年	割合	29年	割合	30/29	30年	29年	30/29	
東青	2,077	22	2,104	19	99	50	47	106	キク、トルコギキョウ、カーネーション、デルフィニウム、宿根スターチス
中南	2,762	29	3,367	30	82	513	550	93	アルストロメリア、トルコギキョウ、キク、バラ、サクラソウ
三八	2,472	26	3,315	30	75	516	584	88	キク、カンパニュラ、ユリ類、シクラメン、トルコギキョウ
西北	1,620	17	1,760	16	92	294	365	81	キク、トルコギキョウ、宿根カスミソウ、デルフィニウム
上北	430	5	437	4	98	304	285	107	ポットローズ、カランコエ、観葉植物、バラ、ポインセチア
下北	67	0.7	67	0.6	101	3.1	2.6	119	キク、アスター、トルコギキョウ
合計	9,429	100	11,051	100	85	1,680	1,834	92	

【農産園芸課調べ】

(注) 数値は小数点以下を四捨五入しているため、各数値の合計値と合計欄の値が一致しない場合がある。

## 5 バケット出荷の状況

切花の鮮度保持のためのバケット出荷は、JA花き部会を中心に実施されている。

品目別では、カンパニュラはバケットによる出荷量が47万本とほぼ全量で行われており、宿根カスミソウは6万6千本で83パーセント、キンギョソウは10万3千本で82パーセント、デルフィニウムは3万8千本で65パーセント、トルコギキョウは74万本で55パーセントなどとなった。

表5 切花類のバケット出荷状況 (単位：a、千本、%)

品 目	施設・露地栽培計			
	作付面積	出荷数量	バケット出荷量	バケット出荷率
カンパニュラ	128	474	470	99.2
宿根カスミソウ	101	80	66	83.1
キンギョソウ	43	125	103	82.1
デルフィニウム	81	57	38	65.3
トルコギキョウ	806	1,353	740	54.7
カーネーション	109	150	68	45.4
バラ	204	727	201	27.6
その他	484	494	77	15.6
合 計	1,956	3,461	1,763	50.9

【農産園芸課調べ】

(注) 数値は小数点以下を四捨五入しているため、各数値の合計値と合計欄の値が一致しない場合がある。

## 6 JAの花き生産の状況 (JA全農あおもり取扱状況)

### (1) 花き取扱状況

JA全農あおもりの平成30年花き取扱量(県内JAの全取扱数量)は、約711万本(前年比89%)と前年より約92万本減少した。

また、販売額は6億800万円(同97%)と前年より1,900万円減少した。

### (2) 販売額割合

県出荷額に対するJA全農あおもりの販売額のシェアは36パーセントとなった。

表6 JA全農あおもりの取扱状況

(単位：千本、百万円、円、%)

項目 年次	農協数	数量	販売額	単価	県出荷額	シェア
30年	10	7,106	608	86	1,680	36
29年	10	8,028	627	78	1,823	34
30年/29年	100	89	97	110	92	105

【JA全農あおもり調べ】

(注) シェア：(JA全農あおもり販売額÷県出荷額)×100